

開催日 2023年4月8日(土)

会場 第9会場

時間 12:00-13:00

(東京国際フォーラム ガラス棟5F G502)

緑内障チューブシャント手術

術式の選択 ポイントとテクニック



座長

赤木 忠道 先生
(新潟大学)

難治緑内障に対する手術治療として、ロングチューブシャント手術が日本で認可されてから10年以上経ちました。アーメド緑内障バルブはプレートが比較的小さいため挿入しやすく、また、調圧弁のために過度の低眼圧リスクが低いことから、現在ではその中心的な存在となっています。

チューブの挿入部位は前房が基本ですが、角膜内皮細胞への悪影響の観点から硝子体腔や毛様溝が積極的に選択されています。しかし、挿入部位によって異なる注意点やコツがあります。また、術後のマネジメントでも、従来の濾過手術とは異なる注意点があり、ロングチューブシャント手術特有の合併症対策も必要です。

本セミナーでは、本術式の経験豊かな3名の先生方から、毛様溝挿入と硝子体腔挿入のそれぞれの留意点、術後のマネジメントのコツについて解説していただきます。明日からの実際の手術にすぐに役立つポイントとテクニック満載のセミナーになることでしょう。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

演者1



アーメド緑内障バルブ
毛様溝挿入のポイントとテクニック

本田 理峰 先生 (聖路加国際病院)

演者2



アーメド緑内障バルブ
硝子体腔挿入のポイントとテクニック

三浦 悠作 先生 (高知大学)

演者3



アーメド緑内障バルブ
手術後マネジメントのポイントとテクニック

植木 麻理 先生 (永田眼科)

